

特集 敗戦から70年、いま伝えたいこと

わたしを救ったのは軍隊ではない
H少年の問い・王津さんの涙
映画『無法松の一生』を使った公演を再開する
「玉音」の呪縛
七〇年前を想起しつつ、現実に向き合う
少年時代からの思い出を証言する
廣末保の仕事を思う
風・過ぎる
国権に抵抗する民衆を彫る
私を社会主義に導いた戦後のできごと
想像力の不足か
運動のない研究の大衆化
戦後七〇年に思うこと
スクラップ作業から見えてくるもの
詩人には戦争が見える

- 文化活動家 岡野奈保美
詩人 石川逸子
映画評論家 白井佳夫
日本史学 鹿野政直
関西大学 名譽教授 吉田永宏
部属解放同盟 廣島県連顧問 小森龍邦
日本文学 日本文学 薬師寺波聖
彫刻家 金城実
グループ「象」同人 岩田光弘
国鉄作家集団 山田昭彦
近現代史研究 井上敏夫
仏文学者 高橋治男
年金者組合 林健
詩人 長谷川龍生

労働者の立場から『日本再興戦略 改訂2014』を読む
多国籍資本の下僕たる安倍政権の成長戦略を阻止しよう
貧困と暴力に終止符を！
闘いは世界の女性とともに

- 自治体労働者 吉良寛
国際婦人デー・七東京集 3・7東京集会実行委員
社会科学研究所／在日朝鮮民主女性同盟 中央本部／在日韓国民主女性会
村上理恵子 60

「インターナショナル・レビュー」●コバニの戦いにもつ意味
田澤清秀／●ファシズム・軍国主義打倒70周年で本誌に寄せられたメッセージ
フィリピン共産党PKP(1930)
「ギリシヤ共産党」●日本当局の不当な強制捜査に関する朝鮮総聯中央常任委員会の声明 81

労働者通信 女性労働者特集

出版流通現場で働く非正規労働者
組合活動を振り返って
戦争が近づいている島
争議は終わっていない
地方自治体で働く非正規職員の現状
学校給食を孤立させる浅薄な報道
一匹羊の不安で満ちたりた生活
「運送改善」は安心して働ける職場か
働いても貧しい現実のなかで
老人ホーム厨房の一日

- 出版情報関連 伊豆野千穂子
組合活動 中村泰子
単組、出版労連、言論、出版の自由 中村早子
南西諸島・宮古島の「軍事要塞」化 宮古平和運動
徹底的に弾劾 連絡協議会
されるべき司法 JAL不当解雇撤回
客乗原告団事務局次長 鈴木圭子
千葉市図書館 全統一労働組合 特別執行委員 鎌倉淑子
を考えまじやう 東京部学校 栗原美子
中小企業の介護 生活と実態 フリーランス 広田匡子
「特集」有料「家政婦」現場のつばやき 在日韓国人二世 日向よう子
経営者が 介護福祉士 金景好
見えない現場 給食調理員 阪上知子

状況2015 春

国際 率直な意見交換と共同行動の合意
国際 ウクライナ・グロバル戦争の引き金か?
撃墜 被害者が増える加害者を赦した歴史
原発 安倍政権の米日(核)同盟のゆくえ
美術 よみがえる藤田嗣治
文学 眸のひらめき

- 国際政治研究 沖江和博
国際交流平和フォーラム 富山栄子
代表・政治研究 前田栄朗
東京造形大学 芹沢昇雄
「NPO」中継連 平和記念館・事務局 阪上みつ子
「NPO」中継連 社会主義 研究 伊藤龍哉
HOWS受講生 画家 金山明子

再調査報告の遅れの責任は安倍首相にある
眞実の責任を共和国に懸ける安倍政権追従められぬマスコミが民主主義を歪めてゐる

- 琉球大学 名誉教授 高嶋伸欣 73

研究ノート 武井昭夫と杉浦明平
<戦後記録文学は、強烈な哄笑の文学、たりえたか?>
HOWS 受講生 飯島聡 166

読書ノート

『花田清輝批評集 骨を斬らせて肉を斬る』
立野正裕著 紀行 失われたものの伝説
李一海訳著 『民族文化財を探し求めて』
樋口雄一著 『金天海 在日朝鮮人社会活動家の生涯』
詩田直子著 『大学生生活の迷い方』
中村不二夫著 『戦後サークル詩論』

- 元編集者 加藤栄貴
労働者文学会会員 牧子嘉丸
朝鮮美術文化研究 古川美佳
日本コリア友好の会 二瓶一夫
人権運動団体役員 智原嘉代子
児童文学作家 子どものりこ

映画再見 『街の灯』C・チャップリン監督 田澤清秀 141
<<川柳>笑歌
めでたいさいかどう、他 笑い茸 110

連載
『放射能汚染と向かい合ったための基礎知識』
『原発事故被災者の声』
『東日本大震災・環境地区復興委員より』

表紙の絵について 『場』 画家 薬師寺波麻 13
『デザイナーの独り言』 追川恵子 176
表紙デザイン・追川恵子 イラスト・金山政紀 編集後記 176

